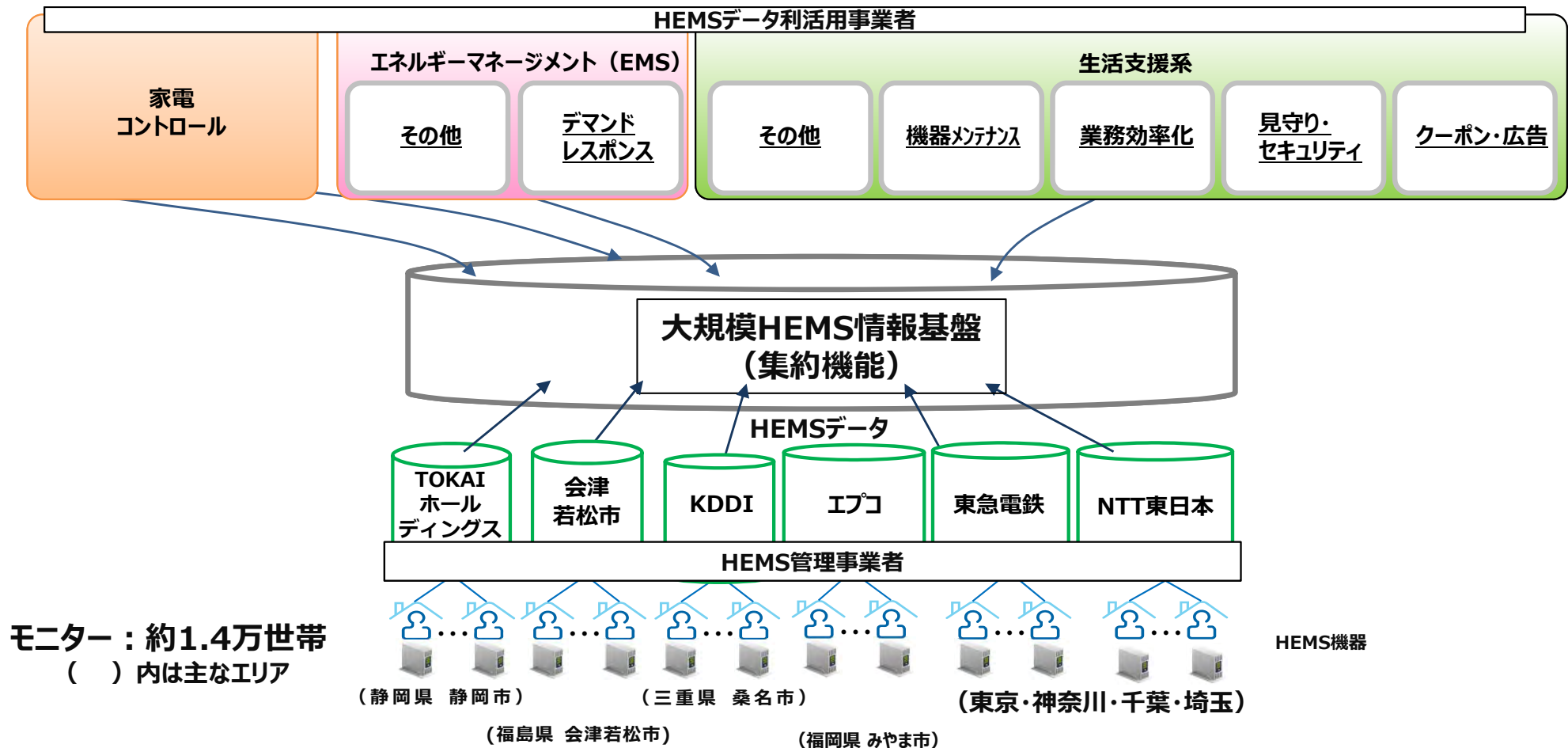


「課題⑥HEMSデータを活用した事業促進に向けた検討」
対応の方向性（案）

平成26年12月1日
JSCAスマートハウス・ビル標準・事業促進検討会

- HEMS普及促進、一般家庭における経済性の高いエネルギーマネジメントの実現に向け、多数のHEMSを一元的にクラウド管理し、電力利用データの利活用を推進する大規模HEMS情報基盤を整備



事業の概要（モニタ対応に関する取組み）

第4回HEMS-TF事業促進SWG(2014/11/21)
iエネコンソーシアム報告内容

● エリア、企業・自治体の特色を生かした啓蒙活動・モニタ募集の実施

エリア	募集地域 (担当企業・自治体)	モニタ 目標数	モニタ獲得方法
関東	東京都、神奈川県、千葉県、 埼玉県(東日本電信電話株 式会社)	3,500 モニタ	<ul style="list-style-type: none"> ・節電やエコに感度が高いユーザやシニア層に対して、 テレマーケティングを活用した活動の実施 ・シニア層やITリテラシーの低い利用者へのサポート体制の充実 ・パンフレットや同意書を利用した丁寧な啓蒙活動の実施
	東急沿線エリア (東京急行電鉄株式会社)	3,500 モニタ	<ul style="list-style-type: none"> ・対象エリアにお住まいのお客さま宅へのテレアポによる 訪問ポイントメントの実施 ・お客さま宅訪問による1軒1軒丁寧な取組みのご案内 ・車内広告や駅貼り広告、無料配布媒体等による告知
中部・東海	三重県桑名市 (KDDI株式会社)	3,500 モニタ	<ul style="list-style-type: none"> ・住民への周知活動に県や市のHP、広報誌の活用 ・事業パンフレットの配布の実施 ・地域TV会社での番組放送の活用 ・土・日曜日を中心とした住民説明会の実施
	静岡県静岡市(株式会社 TOKAIホールディングス)	1,000 モニタ	<ul style="list-style-type: none"> ・約15万件の顧客基盤を活用した募集活動の実施 ・TLC会員向けに、メールによる募集を実施 ・11月に開催される展示会での募集についての検討中
東北	福島県会津若松市 (福島県会津若松市)	500 モニタ	<ul style="list-style-type: none"> ・会津若松スマートシティ推進協議会や会津若松市のHP、 地域SNSによる既存市民チャンネルを通じた募集 ・タウンミーティング等を活用した市長自ら市民への参加呼びかけ
九州	福岡県みやま市(福岡県み やま市/株)エプコスマー トエネルギーカンパニー)	2,000 モニタ	<ul style="list-style-type: none"> ・みやま市発行の広報誌での本事業の紹介 ・事業説明会・相談会実施によるローラー作戦 ・コールセンターとホームページによるフォローの実施

- 標準化の検討にあたっては、現在または将来想定される具体的なHEMSデータ利活用サービスを前提に、そこからの要求を満たすよう簡素さと拡張性のバランスを検討していくことが必要である。
- そこで、平成26年度事業「大規模HEMS情報基盤整備事業」において、HEMSデータ利活用サービスを実際に運用することで抽出された課題や、対処を通じて標準化を進めることとする。

HEMS情報基盤に係る標準化の考え方について(スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会 2014/5/28資料)より抜粋



- 大規模HEMS情報基盤の構築及び運用を通じて、標準化等を検討する。
 - 検討結果を踏まえ、平成27年度末を目途に、本整備事業の成果を取りまとめ提案する。
- 主な検討事項
- HEMSデータ利活用事業者と大規模HEMS情報基盤との間の標準API
 - HEMS情報基盤を通じてHEMSデータ利活用事業者へ情報を提供する際のデータ処理
 - HEMS情報基盤を運用する際のセキュリティ

- サービス事業者とHEMS情報基盤との間については、ベンチャーや中小企業を含む様々な事業者が市場参入しやすくする観点から、標準化する必要がある。

HEMS情報基盤に係る標準化の考え方について(スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会 2014/5/28資料)より抜粋



- 大規模HEMS情報基盤整備事業では、HEMSデータ利活用事業者が使いやすいAPIを目指し、HEMSデータ利活用事業者の用途に合わせたデータ提供方法を整備する。

■ 主な検討事項

- 標準化対象とするデータの範囲 (HEMSデータ、属性情報など)
- データの検索条件・提供単位
- HEMSデータ利活用事業者のデータ取得間隔
- HEMSデータ利活用事業者のデータ蓄積・保存方法

■ 想定するHEMSデータ利活用事業者のサービス

デマンドレスポンス、クーポン・ポイント、エネルギー診断、高齢者見守り、地域情報配信 など

■目的

- 大規模HEMS情報基盤におけるプライバシーに配慮したデータ利活用のあり方について検討。

■検討・実施内容

- 「同意書」、「利用規約」、「プライバシーポリシー」、「事業者間ルール」などについては、現行法、スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会の検討結果などと照らし合わせて、検討を進める。
- 検討結果は、実証期間中に実施する「アンケート等」を通じて検証し、需要家、サービスからのフィードバックを行う。
- 検討結果については「大規模HEMS情報基盤のプライバシーのあり方に関する知見」としてまとめた上で、マニュアルα版改定案を提案予定。

■検討における留意点

- 現在、政府にて検討が進められている個人情報保護法の改正に留意し、改正後にスムーズに移行できるよう検討を進める。

対応の方向性（案）

- 大規模HEMS情報基盤整備事業の採択事業者（iエネコンソーシアム）が、情報基盤を実際に運用する中で、①情報基盤の標準化等、②プライバシー上の対応策を検討。
- 検討結果について、事業促進SWGへ照会。SWG等の御意見を踏まえつつ、①及び②の対応を実施。

①情報基盤の標準化等について

(1)APIの検討

- (a)現在または将来想定される具体的なHEMSデータ利活用サービスを前提に、そこからの要求を満たすよう簡素さと拡張性のバランスを検討（平成26年5月28日開催、第5回事業促進検討会資料から抜粋）。
- (b)HEMSデータ利活用サービスの多様性を確保する観点で、重点8機器からECHONET-Lite仕様でHEMSデータ利活用サービスに速やかなデータ流通が出来る方策を検討

(2)データ処理やセキュリティ等の課題抽出・検討

- (a)データ処理については、HEMSデータ利活用事業者のユースケースに合わせたデータ処理・機能を検討。
- (b)セキュリティーについては、各事業者の特徴を踏まえて、事業者間の通信方式、運用ルール等について検討。

②プライバシー上の対応策について

(1)消費者の実際の声を反映したプライバシー上の対応策の検討

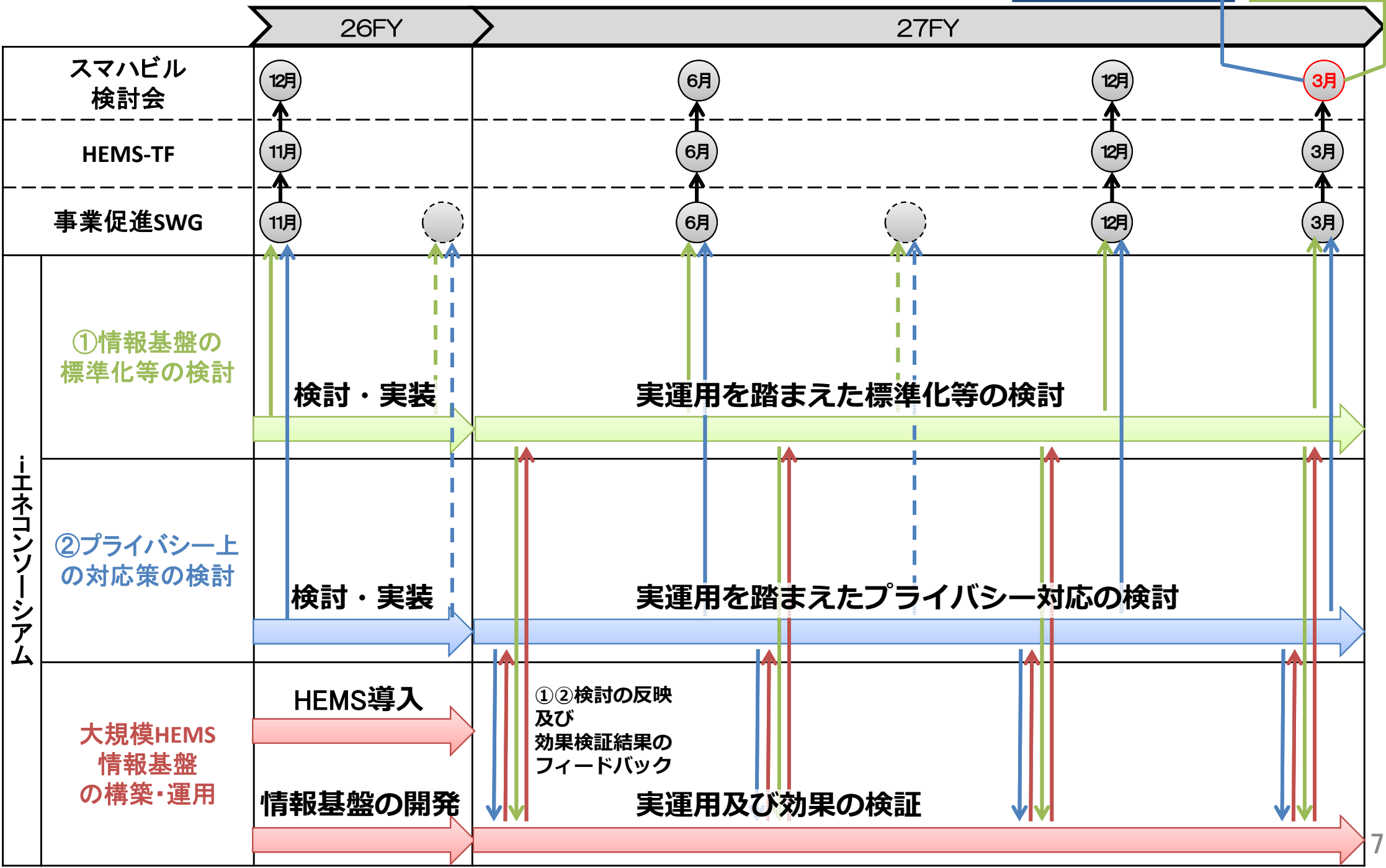
- (a)情報基盤の構築・運用やアンケート等を通じて得られた知見を基に、「HEMSデータ利用サービス市場におけるデータ取扱マニュアルα版」（第5回事業促進検討会資料）を改定。

※その他、事業促進SWG等の委員からの御意見等を踏まえつつ、検討内容の追加・変更も検討。

スケジュール (案)

プライバシー
マニュアル策定

情報基盤
標準化等



ICTシステム